

「史蹟めぐり B コース」

1 参加学年・人数

全校生徒（計 79 人）

2 日時・場所

令和 3 年 11 月 22 日（月） 垂水市水之上・猿ヶ城方面

3 史蹟の名称・時代・特徴について

（1）名称・時代

- ▶ 牧の薬師如来像：1688～1704 年（イボの神様として信仰）
- ▶ 勝軍地藏像：1506 年建立
- ▶ よめじょ川用水（取水口）：江戸時代
- ▶ おんだんこら祭り：白山神社の祭礼。その昔，白山神社の「神田」を「御田」と呼んでおり，その付近の河原を「御田の河原」と呼び，さらに「おんだんこら」，「女男河原」と書くようになった。現在でも当日は，登山や演芸大会，作品展示などが行われ，沢山の人で賑わっている。
- ▶ 手貫神社：奈良時代建立，昭和 56 年に消失したが再建（武運長久，厄除け開運，子授け・安産・子育ての神様，商売繁盛・事業繁栄の神として崇敬されている）
- ▶ 孝子市太郎の墓：1833 年（わずか 6 歳で亡くなった，孝行息子の墓）
- ▶ 垂水島津家墓地：（6 代～16 代までの墓地）
- ▶ 林之城跡・お長屋：1611 年建立（下級武士の詰め所，400 年の歴史を持ち，島津家の建造物の中でも最も古いものに入る）
- ▶ 垂水高等学校：大正 14 年 2 月（鹿児島県肝属郡垂水尋常小学校併設実科高等女学校として文部大臣として認可）

（2）特徴

本校から垂水を横断する本城川沿いを歩き，そこに生きた人々の思いを知ること重点を置かれたコースとなっている。この地域は豊かな水のおかげで稲作が盛んに行われており，江戸時代に整備された用水路が今もなお水田や人々の生活に使われている。当時の人々の信仰や暮らしに思いを馳せ，さらに「おんだんこら祭り」などの無形文化の伝承も感じることができる。

4 地域との連携について

垂水市観光協会の川崎あさ子さんの協力を得ており，その紹介で垂水郷土史研究会会長の瀬角龍平さん，さらに新城公民館の山田さんの協力も得て，各箇所説明をしていただいた。また手貫神社では神職の方と長刀を保管する中馬さんにも話をしていただいた。

5 工夫した点

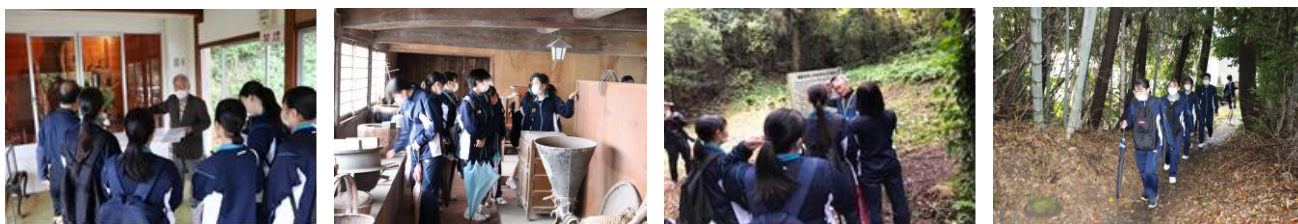
このコースは、垂水市を豊かにした水、そしてそこに生きた人々の思いを知ることができるよう工夫した。

薬師如来では「いぼの神様」としての民間信仰に想いを馳せ、勝軍地蔵では「垂水市唯一の県指定文化財」としての威厳からその価値を感じられる。また、よめじょ川用水路では、その用水路沿いを歩くことにより、江戸時代に現在のお金にして約 30 億円かけて整備されたものが今なお垂水市の水田や生活に不可欠であること、そしてこれらの物を作り、維持してきた先人の英知と行動力を実感できるようにした。

手貫神社では奉納されている長刀や神社の謂れについて神職や長老から話を聞いて中世の領地争いや神社の意味を学び、さらに6歳で亡くなったとされる孝子市太郎の墓では時代を超えた親子の想いを感じることで当時の人々の思いや暮らしに触れることができるようにした。

垂水島津家墓地では垂水の繁栄を支えた島津家の存在をその墓の大きさから感じ、さらに最期の居城となった現垂水小の校門近くに現存する林之城のお長屋を見て、島津家の存在はそんなに遠い過去ではないことを知ってもらうようにした。このように数々の有形・無形の文化財に触れつつ、総距離約 14km を踏破した。

6 取組の様子



7 参加生徒の感想

- ▶ 牧の薬師如来像は、イボの数だけ豆をお供えすると聞き、面白いと思った。
- ▶ 勝軍地蔵とそれを守る2体の仏像を守り通した村の人々の強い思いに感動した。
- ▶ 勝軍地蔵は、中学の時も行ったことがあったが、もう一度廃仏毀釈の理由などが聞けて良かった。
- ▶ おんだんこら祭りは毎年行われているので、あまり古いものではないと思っていたが、とても歴史のある祭りだと知って驚いた。
- ▶ よめじょ川取水口では、3代もかけて水をつなげたことを知り、よくあきらめずにやり遂げたなど感心しました。
- ▶ 特に孝子市太郎の墓は、とても印象に残りました。父を助けるためにできることを見つけて積極的に行動していた市太郎は本当に素晴らしい人だと思いました。
- ▶ 垂水島津家墓地にはとても立派な墓があり、さらに16代までの墓があると知って驚きました。